

2021年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <https://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長 CEO

氏名山田義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長

氏名大上高充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向けウェブおよび電話説明会 10月29日開催)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日 ~ 2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	301,276	△8.8	24,723	△3.9	26,308	△4.2	19,195	0.6
2020年3月期第2四半期	330,229	△6.4	25,731	△19.2	27,449	△12.9	19,082	△27.8

(注1) 四半期包括利益 2021年3月期第2四半期 21,983百万円(5.5 %) 2020年3月期第2四半期 20,832百万円(△30.7 %)

(注2) 2020年3月期第2四半期の当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業(2019年10月31日に譲渡したオートモーティブ・エレクトロニック・コポネンツ・ビジネス(AEC、車載事業))にかかる非継続事業四半期純損失を含めています。なお、非継続事業四半期純損失を除いて算定した2020年3月期第2四半期の当社株主に帰属する四半期純利益は22,446百万円であり、これをもとに算定した2021年3月期第2四半期における対前年同四半期増減率は△14.5%です。

	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社 株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	95	16	—	—
2020年3月期第2四半期	92	92	—	—

(注) 2020年3月期第2四半期の1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純損失を含めています。なお、非継続事業四半期純損失を除いて算定した2020年3月期第2四半期の1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は109円30銭です。

(2) 連結財政状態

	総資産		資本合計 (純資産)		株主資本		株主資本比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2021年3月期第2四半期	752,356		544,766		542,650		72.1	
2020年3月期	758,124		532,589		530,415		70.0	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末		第2四半期末		合計	
	円	銭	円	銭		
2020年3月期	—		42	00	84	00
2021年3月期	—		42	00		
2021年3月期(予想)					42	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

未定としていました2021年3月期の第2四半期末配当金を42円に決定しました。なお、期末配当と合わせた年間配当予想は変更していません。詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 剰余金の配当(中間配当)の決定および期末配当予想の修正」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日 ~ 2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業 税引前 当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	620,000	△8.6	40,000	△27.0	35,000	△32.5	24,000	△68.0	118	99

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注2) 当社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率の算定に使用した前期(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業当期純利益を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した当社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は△38.7%となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名） : 有・無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	206,244,872 株	2020年3月期	206,244,872 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,572,347 株	2020年3月期	4,306,748 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	201,710,881 株	2020年3月期2Q	205,360,840 株

(注) 2021年3月期第2四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式760,568株は、期末自己株式数に含めて記載しています。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 2020年3月期第2四半期の連結業績および四半期連結損益計算書並びに2020年3月期の連結業績において、2019年10月31日に譲渡したオートモティブ・エレクトロニクス・コンポーネンツ・ビジネス（AEC、車載事業）を非継続事業に分類しています。当該非継続事業の金額は、四半期純利益、当社株主に帰属する四半期（当期）純利益、1株当たり当社株主に帰属する四半期（当期）純利益に含めています。
- 当社は、2020年10月29日（木）投資家向けウェブおよび電話説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- IAB： インテグリアルオートメーション・ビジネス（制御機器事業）
EMC： エレクトロニクス&メカニカルコンポーネンツ・ビジネス（電子部品事業）
SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）
HCB： ヘルスケア・ビジネス（ヘルスケア事業）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
(4) 剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(会計上の見積りの変更)	P. 11
(セグメント情報)	P. 12
3. 補足情報	P. 13
(1) 連結業績概要	P. 13
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 14
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均為替レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均為替レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第2四半期連結累計期間（2020年4月～9月）における当社グループを取り巻く事業環境は、厳しい状況が継続しました。新型コロナウイルス感染症の拡大や米中貿易摩擦の継続などによりグローバルに需要が減衰しました。その中でも、当社の主要顧客である製造業においては、各国の景気刺激策などにより一部のエリアや業種で事業環境の改善が見られ、設備投資の機会を的確に捉えました。また、ヘルスケア事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大で健康管理や疾病予防の意識が高まる中、血圧計や体温計の需要増に対して生産能力の増強などでスピーディに対応しました。

売上高は前年同期比で減少しましたが、商品力の強化や構造改革などに継続して取り組み、売上総利益率を向上させました。また、有事モードとして期初からスタートさせた年間200億円規模の固定費削減の運営は、計画どおりに進行しています。これらの寄与はあるものの、営業利益は円高による為替の影響があり前年同期比で減少しました。

当第2四半期の業績結果は以下のとおりです。

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率
売上高	3,302億円	3,013億円	△8.8%
売上総利益 (売上総利益率)	1,488億円 (45.0%)	1,364億円 (45.3%)	△8.3% (+0.2P)
営業利益 (営業利益率)	257億円 (7.8%)	247億円 (8.2%)	△3.9% (+0.4P)
継続事業 税引前四半期純利益	274億円	263億円	△4.2%
当社株主に帰属する 四半期純利益	191億円	192億円	+0.6%
米ドル平均レート	109.2円	106.9円	△2.3円
ユーロ平均レート	122.0円	120.9円	△1.1円
人民元平均レート	15.9円	15.2円	△0.7円

(注) 2020年3月期第2四半期累計期間の当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純損失を含めています。なお、非継続事業四半期純損失を除いて算定した2020年3月期第2四半期累計期間の当社株主に帰属する四半期純利益は224億円であり、これをもとに算定した増減率は△14.5%です。

○ セグメント別の状況

IAB（制御機器事業）

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	1,779億円	1,649億円	△7.3%
営業利益	276億円	264億円	△4.4%

<売上高の状況>

デジタル業界における半導体、二次電池、スマートフォン関連の設備投資が特に中国・韓国でいち早く回復し、また、マスクを中心としたコロナ対策関連の設備投資がグローバルで拡大し、これらの需要の増加を的確に捉えました。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大によってグローバルで経済活動の停滞が続いており、特に、自動車業界では設備投資の抑制が継続しました。これらに加えて、円高による為替の影響もあり、売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少および円高の影響により、営業利益は前年同期比で減少しました。

EMC (電子部品事業)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	459億円	388億円	△15.4%
営業利益	7億円	3億円	△51.7%

<売上高の状況>

第1四半期にはロックダウンの影響を受けて需要が大きく減退しましたが、第2四半期に入ってグローバルで顧客の生産活動や販売活動が再開されて需要は底打ちとなりました。特に、中国での需要は前年同期並みに戻りました。売上高は、新商品の売上拡大に注力しましたが、第1四半期での落ち込みが影響して前年同期比では大きく減少しました。

<営業利益の状況>

構造改革の成果は出ているものの、売上高の減少および円高の影響を受け、営業利益は前年同期比で減少しました。

SSB (社会システム事業)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	464億円	374億円	△19.4%
営業利益 (△損失)	19億円	△12億円	—

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

<売上高の状況>

駅務システム事業では、第2四半期には新型コロナウイルス感染症の影響によって顧客の投資抑制が顕在化し、需要は低調に推移しました。エネルギーコンボ事業においても、社会活動自粛の影響を受けて蓄電システムの販売が低調に推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

固定費を抑制しましたが、売上高の減少幅が大きく、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

	2020年3月期 第2四半期連結累計期間	2021年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	546億円	575億円	+5.3%
営業利益	69億円	106億円	+54.1%

<売上高の状況>

新型コロナウイルス感染症の拡大により健康管理、疾病予防意識が高まり、グローバルで血圧計、体温計の需要が増加しました。また、外出自粛や店舗の休業によりオンラインへのシフトが顕著となりました。これらに対応して、生産能力の増強やオンライン・マーケティングの強化を柔軟かつ迅速に実行しました。これらの結果、売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加および固定費の抑制により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

○ 財政状態

当社グループは、持続的な企業価値向上に向けた投資を実行するとともに、資本効率を重視した ROIC 経営を継続しています。

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ58億円減少して、7,524億円となりました。当四半期累計期間は新型コロナウイルス感染症による影響の中、受取手形及び売掛金については、グローバルで債権管理を強化、着実に回収を実行しています。たな卸資産については、需要変化に対応した適正な水準を維持しています。また、有形固定資産は将来の成長に向け必要な投資を厳選して実行しました。

負債の部は、支払手形及び買掛金・未払金や未払費用の減少などにより、前連結会計年度末に比べ179億円減少して、2,076億円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ122億円増加して、5,448億円となりました。

以上より、株主資本比率は前連結会計年度の70.0%から72.1%となり、強固な財務基盤が維持されています。手元現預金は2,091億円を保有しており、加えて金融機関との間で300億円のコミットメントライン契約を締結しています。また、格付け機関から長期発行体格付けとして「安定的」の高格付けを維持しており、高い資金調達力を確保しています。新型コロナウイルス感染症による不透明な事業環境下においても、グローバルで金融機関との良好な関係を維持しながら、資金流動性と調達力を確保してまいります。

○ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

四半期純利益や運転資金の効率的な運用により457億円の収入(前年同期比93億円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

将来の成長に向け必要な投資を厳選して実行し100億円の支出(前年同期比49億円の支出減)となりました。

なお、当連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの金額から投資活動によるキャッシュ・フローを控除したフリーキャッシュ・フローの金額は357億円(前年同期比142億円の収入増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや、資本効率の向上・株主への利益還元の充実を目的とした自己株式の取得などにより、120億円の支出(前年同期比30億円の支出増)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ236億円増加し、2,091億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は第1四半期時点の見通しよりも上振れしたものの、第3四半期以降は新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の継続によってグローバルに不透明な状況が継続すると想定しており、第1四半期時点の厳しい見方を変更していません。IAB(制御機器事業)では、自動車業界を中心に厳しい事業環境が継続すると見込んでいます。デジタル業界においては中国や韓国を中心に投資が一服するものの、基調は底堅く推移すると見えています。EMC(電子部品事業)では、民生向けが緩やかな回復を見込む一方、車載向けは引き続き低調と見えています。SSB(社会システム事業)では鉄道業界の投資抑制が継続すると見込んでいます。HCB(ヘルスケア事業)では体温計や血圧計の堅調な需要や店舗販売の緩やかな回復を見込んでいます。

当社グループにおいては、厳しい環境の中でも需要の変化を的確に捉えるべく営業活動を強化していきます。また、継続的な商品力の強化や構造改革など売上総利益率の向上に取り組みます。年間200億円規模の固定費削減については、期初の計画通りに完遂するとともに、アフターコロナを見据えた将来の成長に不可欠な投資も継続します。

これらの結果、通期業績予想を以下のとおりとします。なお、第3四半期以降の前提為替レートは1米ドル105円、1ユーロ124円、1人民元15.2円です。

	売上高	営業利益	継続事業 税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	5,900億円	300億円	250億円	165億円	81円81銭
今回修正予想(B)	6,200億円	400億円	350億円	240億円	118円99銭
増減額(B-A)	+300億円	+100億円	+100億円	+75億円	—
増減率(%)	+5.1%	+33.3%	+40.0%	+45.5%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	6,780億円	548億円	518億円	749億円	365円26銭

(注) 前期実績(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益および1株当たり当社株主に帰属する当期純利益には、非継続事業にかかる非継続事業当期純利益(AECの売却益を含む)を含めています。なお、非継続事業当期純利益を除いて算定した前期実績(2020年3月期)の当社株主に帰属する当期純利益は392億円、1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は191円00銭です。

(4) 剰余金の配当(中間配当)の決定および期末配当予想の修正

当社は、2020年7月28日に公表しました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)」において、未定としていました2021年3月期の第2四半期末および期末の配当金について、以下のとおり決定および修正しましたので、お知らせします。

○ 剰余金の配当(中間配当)の決定の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年7月28日公表)	前期実績 (2020年3月期中間配当)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	42円00銭	—	42円00銭
配当金の総額	8,502百万円	—	8,657百万円
効力発生日	2020年12月2日	—	2019年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

○ 年間・期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2020年7月28日発表)	—	—	84円00銭
今回修正予想	—	42円00銭	84円00銭
当期実績 (2021年3月期)	42円00銭	—	—
前期実績 (2020年3月期)	42円00銭	42円00銭	84円00銭

○ 理由

当社は、株主還元方針に定めているとおり、企業価値の持続的な向上を目指し、将来の成長に必要な研究開発、設備投資、M&Aなどの投資を優先し、そのための内部留保を確保したうえで、資本効率を勘案し、安定的・継続的に株主の皆さまへ還元を図っています。また、中期経営計画(呼称VG2.0)期間は配当性向30%程度およびDOE3%程度を目安として、利益還元に努めています。

当期は、業績状況を鑑み、DOE基準ならびに過去の配当額の水準も考慮したうえで、安定的・継続的な配当とするため、2021年3月期の年間配当予想は前回発表予想の84円(前期と同額)から変更していません。また、2021年3月期の中間配当および期末配当予想は、それぞれ年間配当予想の半額の42円(ともに前期と同額)としました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資産の部)				
流 動 資 産	447,139	59.0	444,482	59.1
現金及び現金同等物	185,533		209,142	
受取手形及び売掛金	134,786		106,231	
貸倒引当金	△ 759		△ 714	
たな卸資産	104,301		109,618	
売却予定資産	441		-	
その他の流動資産	22,837		20,205	
有形固定資産	114,526	15.1	111,499	14.8
土地	20,446		20,425	
建物及び構築物	129,110		123,813	
機械その他	147,038		148,107	
建設仮勘定	5,467		6,035	
減価償却累計額	△ 187,535		△ 186,881	
投資その他の資産	196,459	25.9	196,375	26.1
オペレーティング・リース 使用権資産	30,327		28,301	
のれん	38,568		37,452	
関連会社に対する 投資及び貸付金	29,251		29,055	
投資有価証券	25,782		29,494	
施設借用保証金	7,486		7,489	
繰延税金	37,416		37,661	
その他の資産	27,629		26,923	
資産合計	758,124	100.0	752,356	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	151,299	20.0	136,652	18.2
支払手形及び買掛金・未払金	64,496		55,144	
未 払 費 用	37,179		36,040	
未 払 税 金	2,516		3,024	
短期オペレーティング・リース負債	11,070		10,526	
そ の 他 の 流 動 負 債	36,038		31,918	
繰 延 税 金	1,717	0.2	1,551	0.2
退 職 給 付 引 当 金	40,236	5.3	38,070	5.1
長期オペレーティング・リース負債	19,820	2.6	18,787	2.5
そ の 他 の 固 定 負 債	12,463	1.6	12,530	1.6
負債の部合計	225,535	29.7	207,590	27.6
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	530,415	70.0	542,650	72.1
資 本 金	64,100	8.5	64,100	8.5
資 本 剰 余 金	100,521	13.3	100,988	13.4
利 益 準 備 金	20,981	2.8	22,306	3.0
そ の 他 の 剰 余 金	451,768	59.6	461,167	61.3
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 83,606	△ 11.0	△ 81,112	△ 10.8
為 替 換 算 調 整 額	△ 31,408		△ 30,176	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 52,250		△ 50,797	
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	52		139	
自 己 株 式	△ 23,349	△ 3.2	△ 24,799	△ 3.3
非 支 配 持 分	2,174	0.3	2,116	0.3
純資産の部合計	532,589	70.3	544,766	72.4
負債及び純資産合計	758,124	100.0	752,356	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 〔 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日 〕		当第2四半期連結累計期間 〔 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日 〕	
		金 額	百分比	金 額	百分比
			%		%
売 上 高		330,229	100.0	301,276	100.0
売 上 原 価		181,461	55.0	164,898	54.7
売 上 総 利 益		148,768	45.0	136,378	45.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		99,751	30.2	90,932	30.2
試 験 研 究 開 発 費		23,286	7.0	20,723	6.9
営 業 利 益		25,731	7.8	24,723	8.2
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -		△ 1,718	△ 0.5	△ 1,585	△ 0.5
継 続 事 業 税 引 前 四 半 期 純 利 益		27,449	8.3	26,308	8.7
法 人 税 等		4,562	1.3	7,380	2.4
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)		230	0.1	△ 484	△ 0.1
継 続 事 業 四 半 期 純 利 益		22,657	6.9	19,412	6.4
非 継 続 事 業 四 半 期 純 損 失		3,364	1.1	—	—
四 半 期 純 利 益		19,293	5.8	19,412	6.4
非 支 配 持 分 帰 属 損 益		211	0.0	217	0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益		19,082	5.8	19,195	6.4

(注) 前第2四半期連結累計期間の四半期純利益および当社株主に帰属する四半期純利益には、非継続事業四半期純損失を含めています。

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 〔 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日 〕	当第2四半期連結累計期間 〔 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日 〕
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		19,293	19,412
その他の包括利益(△損失)－税効果考慮後 為 替 換 算 調 整 額		△ 18,129	1,309
退 職 年 金 債 務 調 整 額		19,786	1,453
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益		△ 118	△ 191
そ の 他 の 包 括 利 益 (△ 損 失) 計		1,539	2,571
四 半 期 包 括 利 益		20,832	21,983
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		161	294
当社株主に帰属する四半期包括利益		20,671	21,689

(注) 前第2四半期連結累計期間の四半期純利益には、非継続事業四半期純損失を含めています。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
			〔 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日 〕		〔 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日 〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				19,293		19,412
1. 四半期純利益						
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと四半期純利益の調整						
(1) 減価償却費		14,625			11,535	
(2) 固定資産除売却損(△益)(純額)		75			△ 366	
(3) 長期性資産の減損		12			—	
(4) 投資有価証券評価益(純額)	△	1,098			△ 3,099	
(5) 退職給付引当金		165			△ 44	
(6) 繰延税金		1,829			△ 934	
(7) 持分法投資損益(△利益)		230			△ 484	
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		23,612			29,012	
② たな卸資産の増加	△	9,419			△ 5,000	
③ その他の資産の減少(△増加)	△	2,833			4,011	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の減少	△	8,176			△ 6,930	
⑤ 未払税金の増加(△減少)	△	1,274			479	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の減少	△	455			△ 2,681	
(9) その他(純額)	△	115		17,178	822	26,321
営業活動によるキャッシュ・フロー				36,471		45,733
II 投資活動によるキャッシュ・フロー						
1. 投資有価証券の売却による収入				1,371		1
2. 投資有価証券の取得	△	1,370			△ 541	
3. 資本的支出	△	15,836			△ 10,823	
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)		82			△ 3	
5. 有形固定資産の売却による収入		496			1,340	
6. その他(純額)		333			0	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 14,924		△ 10,026
III 財務活動によるキャッシュ・フロー						
1. 短期債務の減少(純額)	△	205			△ 1,585	
2. 親会社の支払配当金	△	8,625			△ 8,481	
3. 非支配株主への支払配当金	△	162			△ 352	
4. 自己株式の取得	△	8			△ 1,453	
5. その他(純額)		23			△ 90	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 8,977		△ 11,961
IV 換算レート変動の影響				△ 6,828		△ 137
現金及び現金同等物の増減額				5,742		23,609
期首現金及び現金同等物残高				110,250		185,533
四半期末現金及び現金同等物残高				115,992		209,142
非継続事業に係る四半期末現金及び現金同等物残高(控除)				6,129		—
継続事業に係る四半期末現金及び現金同等物残高				109,863		209,142
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				133		79
2. 法人税等の支払額				9,727		8,515
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務				8,489		848

(注) 前第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フロー計算書上、非継続事業のキャッシュ・フローは独立表示せずに継続事業のキャッシュ・フローと合算して表示しています。

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

2021年3月期より、有形固定資産の減価償却方法についてこれまで定率法を採用していた当社および国内連結子会社につきまして、定額法に変更しています。

当社グループは、これまで、2011年にスタートした長期ビジョン「Value Generation 2020」および中期経営計画（VG2.0）の成長戦略に基づき、注力ドメインであるIAB（制御機器事業）、HCB（ヘルスケア事業）およびSSB（社会システム事業）を中心に生産・開発拠点への投資を実施しており、前連結会計年度には、当社野洲事業所及び桂川事業所の増築やオムロンヘルスケア株式会社松阪工場の建替えを行いました。また、EMC（電子部品事業）では、グローバル生産体制の構築のために生産拠点統廃合や生産ラインの集約などを進めました。さらには、AEC（車載事業）の売却などによる事業ポートフォリオの見直しも進めてきました。これらの結果、今後、当社および国内連結子会社における設備の安定的な稼働と、設備投資や修繕維持費の平準化が見込まれます。

以上の状況を契機として、定額法による減価償却方法が、安定的な設備の稼働が見込まれる有形固定資産の使用実態をより適切に反映する方法であると判断し、変更を実施しました。なお、この減価償却方法の変更については、FASB会計基準書250「会計上の変更及び誤謬の修正」に基づき会計上の見積りの変更として取扱い、変更による影響は将来にわたり認識されます。

この変更により、従来と比較して当第2四半期連結累計期間の減価償却費は873百万円減少し、当社株主に帰属する四半期純利益および1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ651百万円および3円23銭増加しました。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	177,908	45,889	46,425	54,622	324,844	5,385	330,229
(2)セグメント間の内部売上高	2,703	22,568	4,662	284	30,217	△ 30,217	—
計	180,611	68,457	51,087	54,906	355,061	△ 24,832	330,229
営業費用	153,032	67,790	49,231	48,019	318,072	△ 13,574	304,498
営業利益 (△ 損失)	27,579	667	1,856	6,887	36,989	△ 11,258	25,731

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	164,914	38,830	37,411	57,497	298,652	2,624	301,276
(2)セグメント間の内部売上高	2,330	20,872	3,765	186	27,153	△ 27,153	—
計	167,244	59,702	41,176	57,683	325,805	△ 24,529	301,276
営業費用	140,878	59,380	42,365	47,072	289,695	△ 13,142	276,553
営業利益 (△ 損失)	26,366	322	△ 1,189	10,611	36,110	△ 11,387	24,723

(注) 当社グループでは、有形固定資産の減価償却方法について、2021年3月期より、当社および国内連結子会社につきまして、従来の定率法から定額法に変更しています。この変更による営業費用の前期比減少額 (IAB 185百万円、EMC 163百万円、SSB 124百万円、HCB 143百万円、消去調整他258百万円、合計873百万円) につきましては、各事業セグメントに配賦せず、全額を消去調整他に計上しています。

[所在地別売上高]

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)							
日本	68,368	11,357	46,278	11,740	137,743	4,657	142,400
米州	16,189	7,269	—	10,917	34,375	—	34,375
欧州	35,279	7,733	—	9,694	52,706	—	52,706
中華圏	37,890	13,126	125	16,710	67,851	717	68,568
東南アジア他	20,057	6,351	—	5,310	31,718	—	31,718
直接輸出	125	53	22	251	451	11	462
計	177,908	45,889	46,425	54,622	324,844	5,385	330,229

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、前第2四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しています。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	SSB	HCB	計	消去調整他	連結
主たる地域市場 (外部顧客)							
日本	59,990	9,437	37,262	13,440	120,129	2,271	122,400
米州	13,508	5,689	—	11,495	30,692	—	30,692
欧州	28,901	5,706	—	10,482	45,089	—	45,089
中華圏	43,352	13,248	124	15,929	72,653	341	72,994
東南アジア他	19,109	4,693	—	5,945	29,747	—	29,747
直接輸出	54	57	25	206	342	12	354
計	164,914	38,830	37,411	57,497	298,652	2,624	301,276

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州
- (5) 直接輸出……………直送輸出取引

3. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第2四半期累計			通期		
		2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	330,229	301,276	91.2%	677,980	620,000	91.4%
営業利益 (率)	百万円 (%)	25,731 (7.8%)	24,723 (8.2%)	96.1% (+0.4P)	54,760 (8.1%)	40,000 (6.5%)	73.0% (△1.6P)
継続事業税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	27,449 (8.3%)	26,308 (8.7%)	95.8% (+0.4P)	51,836 (7.6%)	35,000 (5.6%)	67.5% (△2.0P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	19,082	19,195	100.6%	74,895	24,000	32.0%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	92円92銭	95円16銭	+2円24銭	365円26銭	118円99銭	△246円27銭
総資産	百万円	762,907	752,356	98.6%	758,124		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	516,589 (67.7%)	542,650 (72.1%)	105.0% (+4.4P)	530,415 (70.0%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,515円53銭	2,690円75銭	+175円22銭	2,626円62銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	36,471	45,733	+9,262	89,787		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△14,924	△10,026	+4,898	28,639		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△8,977	△11,961	△2,984	△29,430		
継続事業に係る四半期末現金及び 現金同等物残高	百万円	109,863	209,142	+99,279	185,533		

(注1) 連結子会社数は129社、持分法適用関連会社数は18社です。

(注2) 2020年3月期第2四半期および2020年3月期の当社株主に帰属する四半期(当期)純利益および1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益には、非継続事業四半期(当期)純利益(損失)を含めています。なお、非継続事業四半期(当期)純利益(損失)を除いて算定した2020年3月期第2四半期および2020年3月期の当社株主に帰属する四半期(当期)純利益と1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益は次のとおりです。

非継続事業四半期(当期)純利益(損失)を除いた当社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2020年3月期第2四半期 224億円 (2021年3月期第2四半期における前年同期比 85.5%)

2020年3月期 392億円 (2021年3月期予想における前期比 61.3%)

非継続事業四半期(当期)純利益(損失)を除いた1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2020年3月期第2四半期 109円30銭 (2021年3月期第2四半期における前年同期比 △14円14銭)

2020年3月期 191円00銭 (2021年3月期予想における前期比 △72円01銭)

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	前年同期比
IAB	日本	684	600	87.7%
	米州	162	135	83.4%
	欧州	353	289	81.9%
	中華圏	379	434	114.4%
	東南アジア他	201	191	95.3%
	直接輸出	1	1	43.2%
	計	1,779	1,649	92.7%
EMC	日本	114	94	83.1%
	米州	73	57	78.3%
	欧州	77	57	73.8%
	中華圏	131	132	100.9%
	東南アジア他	64	47	73.9%
	直接輸出	1	1	107.5%
	計	459	388	84.6%
SSB	日本	463	373	80.5%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	1	1	99.2%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	0	0	113.6%
	計	464	374	80.6%
HCB	日本	117	134	114.5%
	米州	109	115	105.3%
	欧州	97	105	108.1%
	中華圏	167	159	95.3%
	東南アジア他	53	59	112.0%
	直接輸出	3	2	82.1%
	計	546	575	105.3%
消去調整他	日本	47	23	48.8%
	米州	—	—	—
	欧州	—	—	—
	中華圏	7	3	47.6%
	東南アジア他	—	—	—
	直接輸出	0	0	109.1%
	計	54	26	48.7%
合計	日本	1,424	1,224	86.0%
	米州	344	307	89.3%
	欧州	527	451	85.5%
	中華圏	686	730	106.5%
	東南アジア他	317	297	93.8%
	直接輸出	5	4	76.6%
	計	3,302	3,013	91.2%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第2四半期累計を新管理区分に組み替えて表示しています。

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	前年同期比
IAB	276	264	95.6%
EMC	7	3	48.3%
SSB	19	△12	—
HCB	69	106	154.1%
消去調整他	△113	△114	—
合計	257	247	96.1%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期第2四半期累計を新管理区分に組み替えて表示しています。

(4) 期中平均為替レート実績

(1外貨当たり 円)

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	前年同期比
米ドル	109.2	106.9	△2.3
ユーロ	122.0	120.9	△1.1
人民元	15.9	15.2	△0.7

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
IAB	3,528	3,220	91.3%
EMC	884	810	91.7%
SSB	1,160	930	80.2%
HCB	1,120	1,190	106.3%
消去調整他	89	50	56.5%
合計	6,780	6,200	91.4%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
IAB	536	440	82.1%
EMC	9	10	108.9%
SSB	109	50	46.1%
HCB	135	170	125.8%
消去調整他	△241	△270	—
合計	548	400	73.0%

(注) 環境事業のSSBへの移管およびバックライト事業の収束により、2021年3月期より、「その他」の事業セグメントを「SSB」の事業セグメントおよび「消去調整他」に含め、IAB、EMC、SSB、HCBの4セグメントで開示しています。これに伴い、2020年3月期を新管理区分に組み替えて表示しています。

(7) 期中平均為替レート予想

(1外貨当たり 円)

	2020年3月期	2021年3月期 予想	前期比
米ドル	109.1	105.9	△3.2
ユーロ	121.2	122.5	+1.3
人民元	15.7	15.2	△0.5